

# 国民体育大会 埼玉県選手強化5か年計画 (平成24～28年)

各種スポーツ大会における本県選手の活躍は、県民に夢や希望を与えるとともに、県民の大きな期待と願いでもある。

特に国民体育大会は、各都道府県が編成した選手団による対抗戦であることから、埼玉県選手強化対策委員会は、その強化基本方針を定めて選手強化対策事業を計画的に推進し、永く天皇杯上位入賞を重ねてきた。

しかしながら、第66回大会において、目標であった「天皇杯3位以上」から大きく後退し第8位となった。昭和42年の第22回埼玉国体以降、この順位を下回るのは、唯一入賞を逃した第34回宮崎国体(昭和54年)の第9位のみである。

埼玉県選手強化対策委員会としては、この危機的な状況を打破し、態勢の立て直しを図るため、これまでの選手強化基本方針の見直しが急務となった。

そこで、新たに中期的な選手強化を見据えた目標と方針を設定し、21世紀に躍進する「スポーツ埼玉」の飛躍的發展を期するため、ここに「国民体育大会埼玉県選手強化5か年計画」(以下、「5か年計画」という)を策定する。

## ■ 「5か年計画」目標

『平成28年の第71回国民体育大会までに、「天皇杯・皇后杯ともに第3位以上」を奪還』

## ■ 「5か年計画」選手強化基本方針

- 1 競技団体ごとに単年度の目標を設定し、効果的な強化計画を策定する。
- 2 「本県手づくり選手」や「ふるさと選手」などの優秀選手を育成・強化する。
- 3 企業・大学・クラブチームとの連携強化や優秀な指導者の招聘など、勝利に直結した環境整備を充実させる。
- 4 「プラチナキッズ発掘・育成事業」や「ジュニアアスリートアカデミー事業」の充実により、ジュニアからの一貫指導体制を確立する。